

令和元年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

議事要旨

1. 議事

(審議)

- (1) 静岡県内の渋滞対策の進捗について
- (2) 実施した対策の効果・影響の検討について
- (3) 今後の渋滞対策について
- (4) 今後の主要渋滞箇所のモニタリングの考え方について
- (5) 災害時交通マネジメント検討部会について

(報告)

- (1) 道路交通アセスメント制度について

2. 議事要旨

- ・ 前回以降の静岡県内の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・ 東名日本平久能山 SIC、大型店舗における事業者負担による渋滞対策など、実施した渋滞対策の効果・影響を確認した。
- ・ 令和2年2月14日に供用した東駿河湾環状道路 大場・函南 IC～三島玉沢 IC 間の付加車線については、引き続き、対策の効果・影響を確認する。
- ・ 国道1号長沼交差点において、東名日本平久能山 SIC の開通後、周辺の交通状況は悪化傾向にあるが、SIC の利活用推進により更なる悪化が懸念されるため、今後、要因分析、対策の必要性・方向性の具体化を進める
- ・ 国道139号西富士道路広見 IC 北進オフランプにおいて、左折先の岳陽中東交差点から本線まで渋滞・滞留が連続していることを踏まえ、今後、渋滞の要因分析、対策の検討を進めることを確認した。
- ・ 国道1号静清バイパスにおいて、IC 交差点を先頭とするオフランプの本線滞留が発生しているとともに、1車線のランプを2車線利用している事例が確認されたことを踏まえ、今後、渋滞対策の検討を進めることを確認した。
- ・ 今後の主要渋滞箇所のモニタリングの考え方について確認した。
- ・ 災害時交通マネジメント検討部会の設立することについて確認した。